

03 救急防災体制の強化

災害対応特殊救急自動車の更新

増加する救急要請への迅速、適格な対応を目的に、高度救命措置用資機材および電動ストレッチャーなどを含む資機材を装備した最新鋭の車両に更新します。

主な装備

- ・電動式ストレッチャー(電動油圧昇降システム機能)
- ・電動式ストレッチャー電動リフト装置(ストレッチャー充電機能付き)
- ・自動心臓マッサージ機、半自動除細動器、人工呼吸器

電動ストレッチャーとは

これまで、隊員の力で行っていたストレッチャーの昇降、救急車内への傷病者収容および車外への降車について、電動装置により対応できるようになります。

期待される電動ストレッチャーの効果

- ・傷病者対応の質を向上させ、市民への安全な救急搬送体制を強化します。
- ・救急隊員の負担を軽減し、安全、安定的な救急活動を実現します。
- ・身体的な負担軽減策により、職員の高齢化や女性職員に配慮します。



※イメージ

資機材搬送車の導入

大規模災害発生時に必要な資機材の搬送や水上バイクを含む水難救助活動に係る資機材の搬送等、迅速かつ確かな消防活動を実施するため、多目的に利用できる資機材搬送車を導入します。

これにより、災害現場へ速やかに輸送し、多目的な災害対応が期待されます。

主な活用方法

- ・水難救助事案への迅速対応
これまで個別に運搬していた水難救助用水上オートバイおよび膨張式救命ボートを同時積載することができ、水難事案にも迅速に対応することができます。
- ・大規模災害時の物資輸送対応
市が保有している非常用給水タンクや支援物資を不足する地区へ迅速に運搬することができます。また、幌を装着することで雨天時にも対応できます。
- ・緊急消防援助隊^{ほろ}などへの対応
資機材を大量に積載することができ、迅速に運搬できるようになります。



※イメージ

※緊急消防援助隊…被災地の消防力のみでは対応困難な大規模・特殊な災害発生時に、被災地の市町村長・都道府県知事または消防庁長官の要請で出動し、災害活動を実施する。

防災行政無線屋外子局の更新

災害時に情報提供を行う防災行政無線(同報系)屋外子局の適切な更新を15年計画で実施します。144局中、令和7年度に6局を更新し、令和8年度は13局更新の予定です。



Business 令和8年度

注目事業

01 AIオンデマンド交通を市内全域に拡大

運行エリアに高松・新野・朝比奈地区を追加



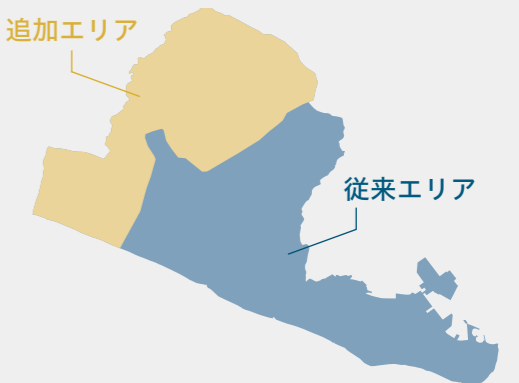
令和7年度に市内5地区(池新田、佐倉、比木、御前崎、白羽)で実証運行を開始したAIオンデマンド交通サービス「OM mobi(オンモビ)」は、予約制で運行する新しい公共交通の形として、地域に定着し始めています。

令和8年度は、運行エリアに新たな3地区(高松、新野、朝比奈)を加えて、市内全域での実証運行を開始します。より多くの市民が快適で便利な移動手段を利用できるようになり、地域交通の更なる利便性向上を目指します。

拡大時期

令和8年10月頃(予定)

追加エリア



従来エリア

02 電力スマート利用化事業の推進

エネルギーのまち 御前崎市

豊富な日射量を活かし、令和5年度から市役所周辺5施設に太陽光発電設備と蓄電池の設置を進めてきました。最終年度となる令和8年度には、各施設を電線で繋ぎ、互いに電力を分け合う「電力スマート利用システム」の構築工事を完成させます。再生可能エネルギーの最大限活用と脱炭素の推進、そして地域防災力の強化を実現し、「エネルギーのまち」として持続可能な発展を目指します。



会計	予算額	前年度比
一般会計	174億 3,000万円	5億 9,000万円
特別会計合計	68億 5,153万円	1億 690万円
企業会計合計	92億 1,217万円	▲11億 7,997万円
財産区特別会計合計	1億 2,380万円	825万円
全会計合計	336億 1,750万円	▲4億 7,482万円

一般会計の増額は、市道の法面改良や治水対策の実施、物価高騰対策として「家計応援×お店応援プレミアム商品券事業」の実施などによります。

企業会計の減額は、水道事業会計における御前崎配水場の更新工事や下水道処理センター更新に係る経費が減額したことが主な要因です。